

ブラックロック・イノベーター株式・ヘッジファンド (為替ヘッジなし)

第3期 運用報告書(全体版) 繰上償還

(償還日:2024年3月29日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/特殊型(ロング・ショート型)
信託期間	2022年1月31日から2024年3月29日まで
決算日	1月25日(ただし休業日の場合は翌営業日)
運用方針	市場動向に左右されない投資収益の達成を目標として運用を行います。
主要運用対象	「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド クラス(投資証券(円建て))」及び「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc ブラックロック・ICS・USトレジャリー・ファンド エージェンシークラス投資証券」に投資します。 「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド クラス(投資証券)」を主要投資対象ファンドとし、その組入比率を高位に保ちます。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ■投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。 ■投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>年1回の毎決算時(原則として1月25日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 <p>※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは約款の規定に基づき、

2024年3月29日をもって繰上償還いたしました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、

これまでのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問合わせ先

電話番号: 03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

CONTENTS

- ◇ 基準価額の推移
- ◇ 運用担当者コメント
- ◇ ファンド状況
- ◇ 運用内容
- ◇ 資産状況

◇基準価額の推移

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		
(設定日) 2022年1月31日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 10
1期(2023年1月25日)	9,118	0	△ 8.8	101.4	386
2期(2024年1月25日)	11,782	0	29.2	99.0	12
(償還日) 3期(2024年3月29日)	(償還価額) 12,483.05	0	6.0	-	13

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額は1万口当り。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨て。

(注4) 当ファンドは、特定のベンチマークを設定しそれを上回る運用を目指したものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定していません。

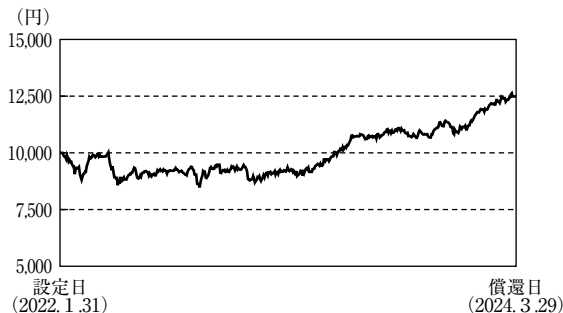
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2024年1月25日	円 11,782	% -	% 99.0
1月末	11,919	1.2	99.0
2月末	12,266	4.1	99.1
(償還日) 2024年3月29日	(償還価額) 12,483.05	6.0	-

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークを設定しそれを上回る運用を目指したものではありません。したがって当ファンドはベンチマークを設定していません。

■基準価額等の推移について(2022年1月31日～2024年3月29日)



- * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額に合わせて指数化しています。
- * 設定日の基準価額は設定時の価額を表示しています。

◇運用担当者コメント

投資環境について

第1期(2022年1月31日(設定日)～2023年1月25日)

世界の株式市場は大きく下落しました。サプライチェーンの混乱が継続している中、ロシアのウクライナ侵攻が欧州の価格ショックとエネルギー危機を引き起こし、インフレ率上昇を加速させました。各国中央銀行は景気後退回避よりも、インフレ抑制を優先し、早いペースでの利上げを行い、各国の金利は大幅に上昇しました。これを受けて景気敏感銘柄を中心に株式市場は下落し、市場のボラティリティは上昇しました。英国では9月に新政権の財政・金融政策を巡り混乱が生じ、世界の金融市場はリスク回避姿勢を強めました。一方、10月以降米国でインフレのピークアウトの兆候が見られ始め、年末にかけては中国がゼロ・コロナ政策を緩和し、経済回復へ向け政策転換をしました。米国債券市場では、ロシア・ウクライナ紛争を背景にしたコモディティ価格の高騰、インフレの高止まり、米連邦準備制度理事会(FRB)による継続的な利上げなどを受けて、米国金利は大幅に上昇しました。

第2期(2023年1月26日～2024年1月25日)

世界の株式市場は大きく上昇しました。堅調な経済データを背景にソフトランディングの可能性が高まりました。この上昇をけん引したのは、生成AIの導入と実用化から恩恵を受けると考えられるテクノロジー株でした。2023年初は景気後退への懸念が和らぐ一方で、市場参加者は近いタイミングでの利上げの打ち止めを織り込み、株価が上昇しました。3月にはシリコンバレー銀行の破綻をきっかけとして、金融システムへの懸念が広がりましたが、各国当局の対応により落ち着きを取り戻しました。その後、インフレ緩和と堅調な経済を示すデータが相次ぎましたが、各国の中央銀行はサービスのインフレ率の高止まりを背景に、早期の利下げを否定し、株価はもみ合いを継続しました。2023年末にかけ、労働市場の緩和とインフレ率の低下が確認され、欧米を中心に市場で利下げの折り込みが進みました。米国金利が低下する中で、グローバルにリスクオン・センチメントとなり、株式市場は上昇基調に転じました。

第3期(2024年1月26日～2024年3月29日(償還日))

世界の株式市場は上昇しました。FRBによる早期利下げ期待の後退や、業績に注目が集まる相場展開となりました。企業決算は概ね堅調であった一方で、米国で1月のインフレ指標が市場予想を上回り、金利は上昇基調となりました。3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)では2024年の利下げ回数の中核値は据え置かれた一方で、スイス中銀は他の主要中央銀行に先行して25bpsの利下げに踏み切りました。

ポートフォリオについて

<当ファンド>

信託期間を通じて、主要投資対象ファンドである「BSF ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド(円建て)」を高位に、副次的投資対象ファンドである「ICS ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド」を低位に組み入れた運用を行いました。繰上償還決定後は、2024年3月29日の繰上償還に向け投資対象ファンドの売却を行い、資金化を実施しました。

<BSF ブラックロック・エマーGING・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド>

第1期(2022年1月31日(設定日)~2023年1月25日)

ロング・ポジションがマイナス寄与、ショート・ポジションがプラス寄与となりました。

市場のボラティリティとマクロ環境の不透明感を反映し、エクスポージャーはグロス、ネットともに引き下げました(主にテクノロジーのロング・ポジション、指数先物のショート・ポジションなど)。

(主なプラス要因)

- ・生活必需品、指数先物のショート・ポジション。
- ・Oxford Instrumentsや4IMPRINTなどのロング・ポジション。
- ・米国中古車販売企業など一般消費財のショート・ポジション。

(主なマイナス要因)

- ・情報技術と資本財のロング・ポジション。
- ・Integratin, Alphabet, Sigmarocなどのロング・ポジション。

第2期(2023年1月26日~2024年1月25日)

ロング・ポジションがプラス寄与、ショート・ポジションがマイナス寄与となりました。

金利やインフレの動向に注意を払いながら、徐々にグロス、ネットともにエクスポージャーを引き上げました。主に、テクノロジーと資本財企業のロング・ポジションを引き上げた一方で、指数先物のショートを引き下げました。

(主なプラス要因)

- ・テクノロジー、資本財、一般消費財セクターの企業のロング・ポジション。
- ・MICROSOFT, NVIDIA, RELXなどのロング・ポジション。

(主なマイナス要因)

- ・テクノロジー、一般消費財、金融セクターの企業のショート・ポジション。
- ・Watches of Switzerland, WH SMITH, ZOOMINFOなどのロング・ポジション。

第3期(2024年1月26日~2024年3月29日(償還日))

ロング・ポジションがプラス寄与、ショート・ポジ

ションがマイナス寄与となりました。

金利やインフレの動向に注意を払いながら、ネット・エクスポージャーを引き上げました。主に、テクノロジーでのショート・ポジションを引き上げた一方で、資本財企業のロング・ポジションと、指数先物のショートを引き上げました。

(主なプラス要因)

- ・テクノロジー、資本財、一般消費財セクターの企業のロング・ポジション。
- ・TSMC, META, CRHなどのロング・ポジション。

(主なマイナス要因)

- ・指数先物、資本財、一般消費財の企業のショート・ポジション。

<ICS ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド>

主に、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引に投資することで、流動性と元本の安定性を確保しつつ、安定的なインカム水準を追求した運用を行いました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の設定来の騰落率は+24.8%となりました。BSF ブラックロック・エマーGING・カンパニーズ・アブソリュート・リターン・ファンド(円建て)が上昇したことが当ファンドの主なプラス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金について

第1期から第2期の収益分配につきましては、基準価額水準、市場動向等を勘案して見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行いました。

◇ファンド状況

■ 1万口当りの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	(2024.1.26~2024.3.29)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 19	% 0.157	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は12,226円です。
(投信会社)	(1)	(0.010)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.144)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(0)	(0.003)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.020	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(印刷費用・監査費用等)	(2)	(0.019)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	22	0.177	

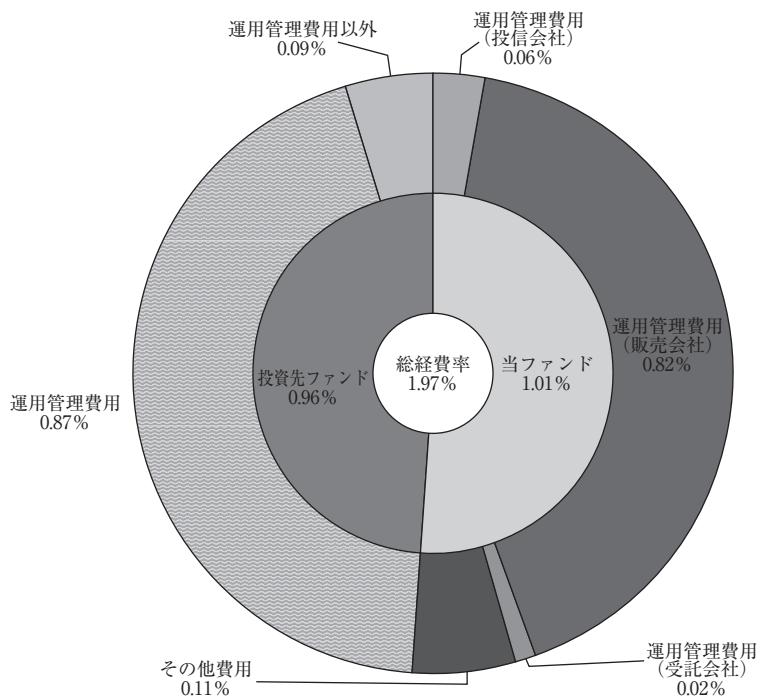
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.97%です。

総経費率(①+②+③)	1.97%
①当ファンドの費用の比率	1.01%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.87%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

◇運用内容

■売買及び取引の状況(2024年1月26日から2024年3月29日まで)
投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	B S F ブラックロック・エマージング・カンパニーズ・アップ ソリュート・リターン・ファンド(円建て)(ルクセンブルグ)	千口 -	千円 -	千口 1	千円 13,217
	国	I C S ブラックロック・I C S ・U S トレジャ リー・ファンド(アイルランド)	千口 -	千米・ドル -	千米・ドル 0.00751 0

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ()内は、発行国です。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2024年1月26日から2024年3月29日まで)
当期における株式の売買はありません。

■利害関係人との取引状況(2024年1月26日から2024年3月29日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

償還日現在における有価証券の組入はございません。

◇資産状況

■投資信託財産の構成

2024年3月29日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 13,476	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	13,476	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月29日現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	13,476,493円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	13,476,493
(B) 負 債	23,479
未 払 信 託 報 酬	20,933
そ の 他 未 払 費 用	2,546
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	13,453,014
元 本	10,777,027
償 還 差 損 益 金	2,675,987
(D) 受 益 権 総 口 数	10,777,027口
1 万 口 当 り 償 還 価 額(C/D)	12,483円5銭

<注記事項>

期首元本額	10,777,027円
期中追加設定元本額	-円
期中一部解約元本額	-円

■損益の状況

自2024年1月26日 至2024年3月29日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	779,249円
売 買 益	779,266
売 買 損	△ 17
(B) 信 託 報 酬 等	△ 23,575
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	755,674
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,636,502
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 716,189
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 716,189)
(F) 合 計(C+D+E)	2,675,987
償 還 差 損 益 金(F)	2,675,987

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2022年1月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年3月29日		資産総額	13,476,493円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	23,479円
				純資産総額	13,453,014円
受益権口数	10,000,000口	10,777,027口	777,027口	受益権口数	10,777,027口
元本額	円	円	円	1万口当り償還金	12,483円5銭
	10,000,000	10,777,027	777,027		
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	423,677,245	386,299,425	9,118	0	0.00
第2期	10,777,027	12,697,340	11,782	0	0.00

■償還金のお知らせ

1万口当り償還金(税込み)	12,483円5銭
---------------	-----------